



伊藤 □さん (16歳・矢場崎)

五城目高等学校2年、野球部所属。部員数11人と少ない中、日々練習に励み、今年夏に行われる「全国高等学校野球選手権大会(甲子園)」出場を目指します。



チームの主砲として目指す夢の舞台

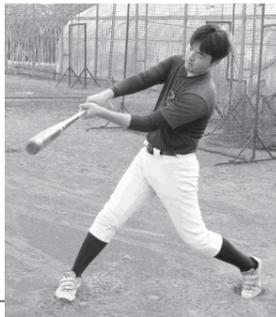
兄2人が野球の練習をしているのを見学して興味を持ったことをきっかけに、小学3年生から野球を始めた□さん。以降、中学・高校とずっと野球を続けてきました。現在のポジションはキャッチャーで、試合では、その日のピッチャーの調子を見て「どの球種で攻めるか」を常に考えながらプレーに臨んでいるそうです。また、打撃ではチームの主砲として4番を担っています。試合では、チャンスで自分の打席が回ってくる事が多く、ランナーを1人でも多く返しチームの勝利に貢献できるように、日々練習に励んでいます。

チーム全体の雰囲気について、□さんは「部員数は11人と少ないが、

いつも明るい。試合で負けていて空気が悪くなくても、皆で声を出すことを欠かさないよう意識している」と語ります。また、普段の練習では、自分たちの弱点である打撃力の向上を目指し、ピッチャーが投げる球を打つ通常のバッティング練習に加え、トスバッティングやピッチングマシンを使った練習なども行っているそうです。

そんな□さんが印象に残っている試合として挙げたのが、昨年6月の仙台遠征で行われた強化試合。当時の3年生を除いた1・2年生だけのチーム編成で臨んだ試合で、ホームランを打てたことがとても嬉しかったとのこと。普段から、どんな球が来ても体勢を崩さずに打ち返せるよう、毎日打撃練習を行ってきた

成果を感じた瞬間だったと話します。今後の活躍に向けて□さんは、「部員数の減少から、今後は他校との合同チームを結成する可能性があり、五高生だけで試合ができるのは今年が最後かもしれない。今年夏に行われる甲子園県予選では、先輩たちの記録であるベスト8を超えるよう、守備では配球に気を配り、打撃では大事な場面でしっかり打てるよう頑張りたい」と話していました。



ゾーイの ごじょうめ日記



Zoe Fell (ゾーイ・フェル)
イギリス・パークシャー出身。
昨年8月から、町の外国語指導助手(ALT)に着任しました。

暖かい春の秋田を存分に満喫

I am lucky, because I got to enjoy hanami this year, too. Even though I have lived in Gojome for a while, I still think about how beautiful the town is every day! I am very happy to live here. I always enjoy admiring the beautiful flowers and plants outside of the houses here.

This year I went to Lake Tazawa again. The water is so blue, it is unbelievable! The weather is sunny and warm now, which is wonderful! I hope that everyone can enjoy the warmer weather, and the beautiful nature of spring.

幸運なことに、今年も花見を楽しむことができました。五城目に住んでしばらく経ちますが、いまだに「なんて美しい町なんだろう」と毎日感じています。この町に住むことができるととても幸せです。いつも、町内の家々の外に咲いている花や植物の美しさに見とれながら楽しんでいます。今年、田沢湖を再度訪問しました。水がとても青くて信じられませんでした。最近、天気もよく暖かい日が続きます。みんなが、この暖かい天気と春の綺麗な自然を楽しめたらいいなと思います。



昨年9月に環境大賞を受賞。左から工藤兼雄美代表、荒川滋さん、北嶋一美さん、齊藤大蔵さん。

令和2年、藪やクマの出没などで登山が困難になっていた森山の状況を改善しようと有志が集まり、令和3年に正式に発足した「もっと森山をもりあげ隊」。名称に3回「も」が入ることから「3MO隊」の愛称で親しまれています。これまで、誰でも参加できる森山定期登山(原則、第1土曜日)や登山道の整備などを精力的に行っており、発足当時10人だった会員数は、現在では36人まで増えました。

工藤さんは、「麓から山頂まで機械を担ぎ上げるのは大変だが、年2回の整備作業は欠かさず継続している。様々な情報発信を行ってきたことで、町内外の多くの方に森山に興味を持ってもらえるようになった」と振り返ります。

現在は、五城目高校の登山行事でのガイドや、町の関係人口創出・拡大事業における県外参加者の受け入れ、1名でも希望者がいた場合の森山観察の無料ガイドなどを行っています。

令和3年以降、イベント参加者は年間約500人前後で推移し、昨年の9月にはこれまでの活動が評価され「環境大賞(秋田県知事表彰)」を受賞しました。今後の活動に向けて工藤さんは、「5月25日、26日には市毛良枝さんをゲストにイベント「里山フェス」を開催する。また、森山・高岳山縦走コースも実現する予定であるため、古代日本の北限だったこのコースを歩いて、これまでにない視点から郷土の景色を楽しんでほしい」と話していました。

輝け! 五城目びと
21
五城目のシンボル
「森山」の魅力を伝えたい
もっと森山をもりあげ隊

5月31日(金)~6月5日(水)に特設人権相談所を開設します

秋田人権擁護委員協議会と秋田地方方法務局では、下記の日程で特設人権相談所を開設します。

「子どもや高齢者への虐待」「いじめや体罰」「近隣との争いごと」「インターネットによる誹謗中傷」など、人権に関するお悩みや困りごとはありませんか。ひとりで悩まず、お気軽にご相談ください。

▶特設人権相談所の開催日・会場

開催日	会場	開催日	会場
5月31日(金)	なかいち(にぎわい交流館AU4F研修室6)(秋田市)	6月3日(月)	市民センター天王館(湯上市)
6月1日(土)	キタスカ(北部市民センター3F)(秋田市)		八郎瀧町青年婦人会館「ロマンの里」(八郎瀧町)
6月2日(日)	大瀧村公民館(大瀧村)	6月4日(火)	船川港公民館(男鹿市)
6月3日(月)	五城館(五城目町)		北浦公民館(男鹿市)
6月3日(月)	市民センター飯田川館(湯上市)	6月5日(水)	井川町農村環境改善センター(井川町)
	市民センター昭和館(湯上市)		

▶開設時間 午前10時~午後3時

※上記の期間以外にも法務局では、平日(午前8時30分~午後5時15分)も人権相談所を開設しています。

☎ 秋田地方方法務局人権擁護課 (☎862・1443)